

令和8年度
「心の絆プロジェクト」
代表者ミーティング まとめ

「学び合い・支え合い・育ち合い
－心のふれ合う『対話』をめざして－」

1 開会

2 趣旨説明

「心の絆プロジェクト」代表者ミーティングについて

3 自己紹介

4 講演会

- ・「学び合い・支え合い・育ち合い-心のふれ合う『対話』をめざして-」
- ・

5 グループディスカッション

- ・私たちがやってきたこと
- ・児童会・生徒会・学園会として、私たちができること
- ・「学びと気づきの()か条」

6 閉会



講師・ファシリテーター
追手門学院大学
三川 俊樹 教授

「『対話』について
考えることで、
これからの実践に
生かしてほしい」

心の成長を促す 対話

対話する(カウンセリング)

- ・人の話を 聴く
- ・その人の気持ちを 受けとめる
- ・その気持ちを 自分のことのように 感じる

人は 対話することによって 気づく

⇒気づく と 一歩 踏み出せる

ふりかえる(リフレクション)

対話 のある人間関係とは

あいさつ

あいさつには あい がある 「相・合・会・愛」

☆あいさつは 人とつながる 思いやり

思いやり = (私の)思い + やる(伝える)

私は、あなたの存在を認めていますよ

私は、あなたの努力や苦勞を知っていますよ

私は、あなたのおかげで助かりました

⇒自分を認めてもらえた と感じる

対話 のある人間関係とは

認める ・ ほめる ・ ねぎらう

(例) 親切な行動をした友だちをほめる
がんばっている友だちを励ます

「えらい！」「すごいな！」「がんばったね！」

→このような言葉は、あなたの心にひびきますか？

⇒自分の気持ちや考えを伝える

(例) 私は、うれしかった
私は、心があたたかくなった
私も、がんばろうと思う
相談してくれて、ありがとう

I (アイ) メッセージには、「あい」がある

心の成長を促す 対話 のために

1 よく観る

NG: 見て見ぬふり、見過ごし、見送り、見誤り など

2 よく聴く

NG: 無視、無理解、無関心、聞き流し、先送り など

対話 を妨げる 思い込み

おたがいの理解 を図るための 対話 なのに…

1 「言えばわかる！」 言わなきゃ損、黙っていたら負け、言ったもの勝ち

2 「言っても わからない！」 どうせ言ってもムダ、言うだけ損、言わぬが仏

3 「言わなくても わかってくれ！」 ○○なんだから、いちいち言葉に出さなくても

コラボレーション を大切に

仲よく・ほめる・積み重ね

- ・できることを、できるかぎりでする

それぞれの「持ち味」を活かして、継続する

- ・「おみやげ」を忘れない

成長を ほめて、認めて、ねぎらって

- ・「丸投げ」「丸抱え」は 絶対だめ！

様々な支援のために 5つの Co

1 コミュニケーション : Communication

コミュニケーションによって情報を収集し、情報の交換をする

2 カウンセリング : Counseling

「傾聴・受容・共感」を大切に、継続的に心をサポートする

3 コーディネーション : Coordination

それぞれの人が自分の役割や責任を認識して連携し、調整する

4 コンサルテーション : Consultation

メンバーの共通理解を基礎に、これからの援助について検討する

5 コラボレーション : Collaboration

メンバーの協力関係を基礎に、チームで支援する



こどもたちの意見



「だれもが行きたくなる学校」について 【小学生】

- ・コミュニケーションの大切さ、人と話すことの効果が深まった。学校でも活かしたい。
- ・この交流で、一人一人にどのような接し方をすればいいかが分かり、とても深まった。
- ・今までも挨拶はしていたけれど、これからは、さらに色々な人と挨拶を交わしたいと思った。
- ・笑顔で話を聞くことや、あいづちを打ちながら話を聞くことが、楽しく話しやすい雰囲気を作ることができる方法だと思った。
- ・人とコミュニケーションをとるとき、お互いがいい気持ちでいられるように、話しやすい雰囲気を作ったり、聞いた人は感想を伝えたり、態度で伝えたりすることが大切だと分かった。
- ・人と対話するときには、「態度」と「雰囲気」が大切だと思った。相手の話しやすい「雰囲気」を作り、「態度」で気持ちを表して、相手と自分の心を深め合うことが大切だと思った。
- ・話す前の雰囲気づくり。例えば、あいづちや笑顔で接することが大事だと思った。他にも、相手が話した後には、反応することが大切だと思った。

「だれもが行きたくなる学校」について 【中学生】

- ・グループディスカッションを通して、初対面の人でも、明るい挨拶が1つであるだけで、相手にとって良い印象になったり、目を見て話を聴いてくれるだけで、もっと話をしたくなったりと、楽しく明るい雰囲気を作ることが出来た。そんな雰囲気が「誰もが行きたくなる学校」なのかなと感じた。
- ・まずは、しっかり話を聞いて相手のことを大切にする。それから、他学年との交流をもっとして、距離を縮めていくことが、1つの学校としていい形になるのではないかと思った。
- ・楽しい学校にするにはコミュニケーションが不可欠で大切なので、話を真剣に聞くのは大切であるという点。
- ・人と上手に話す方法や、どのようにして話を聴いたら良いのか分かった。
- ・冒頭の「中学2年生の話」が印象に残っている。「行ってよかった」という振り返りから、憶測ではなく実際にその生徒とコミュニケーションをとることが大切だと思った。グループを通して、まず話しかけることの大切さや、話の聞き方、褒めることを学び、これから人と対話する時に、実際に実践してみようと思った。

2学期以降、取り組みたいこと【小学生】

- ・いろいろな子と関われる機会をたくさん作ることで、絆を深めていきたい。
- ・みんなで協力してみんなで心をつなげて熱くなるようなプロジェクトを実行して、成功させたい。
- ・学校づくりは全校生で行っていくことだから、全校生の意見を取り入れて学校づくりを行っていききたい。
学校提案箱を作りたい。
- ・あいさつ運動を、いろんな人が参加できるように、もっと考えていきたい。
- ・「話の聞き方」や「人の感じ方」について話をしたりしてみたいと思いました
- ・挨拶に関することをしていきたい。「相、合、会、愛」を意識し、高学年、低学年の区別がつかないような運動に取り組みたい。
- ・学びと気づきの4か条で書いた、「困った時はみんなに相談すること」に取り組みたい。困っている人は楽になるかもしれないし、みんなとの仲が深まるかもしれないからやりたい。
- ・失敗しても次に活かす、ということをがんばりたい。

2学期以降、取り組みたいこと【中学生】

- ・全校生徒のことについて知る機会を設けること。他学年との交流ができる機会を設けること。
- ・他の小学校で行っていた活動を聞いていると、「他学年との交流」という言葉が多く挙げられていた。私たちの学校でも「他学年との交流」をより多く取り入れていきたい。
- ・会話をする機会を増やすために、行事で協力ができるようにしたい。あいさつ運動をもっと活性化させて、全員が趣旨を理解したうえで楽しんでできるように説明したい。
- ・クラス、学年で協力できる機会を増やしたり、「見える化」をさせる活動をしたりしていきたい。
- ・学校では、「自分からやってみる」という取組を広げて、失ばいしてもできるってことを広げていきたい。
- ・5つのCoの中の1つコラボレーションを大切にした「仲良く褒めて積み重ね」についての取組をしたい。
- ・主に、「人と人とのつながり」の面から、よりよい意見の交流や、話の聞き方講座などを行っていきたい。
- ・生徒同士のコミュニケーションの大切さ、ほめることを伝えていきたい。